

# 会 議 録

会議名称	第3回浦幌町水道事業審議会	
事務局(担当部署)	施設課 水道業務係	
開催日時	令和3年1月27日(水) 午後7時00分～午後8時12分	
開催場所	役場3階大会議室	
出席者	会 長：橋枝俊英 職務代理者：浅利尚宏 委 員：坂井康昭、出口和枝、河内治良、森孝浩、背古円、三村直輝、 石田純一、菅谷明 事務局：早瀬課長、小笠原補佐、島田係長、山口係長、井上主事補	
欠席者	委 員：木下和恵、齋藤佳代子、山岸嘉平、山岸嘉一、吉田誠、橋本進	
	会 議 次 第	会 議 結 果
1 会長あいさつ		橋枝会長
2 審議事項 浦幌町水道ビジョンの策定について (1) 第7章 実施スケジュールとフォローアップ		内容のとおり説明
3 その他		
審 議 の 概 要		
<p>2 審議事項</p> <p>(1) 第7章 実施スケジュールとフォローアップ</p> <p>質問：水道料金の見直しや改定のサイクルに関する文言が、3～4年だったり5年だったりバラバラですが、どちらが正しいですか。</p> <p>回答：基本的には5年以内になりますが、設備投資や利用状況等も見ながら、3～5年程度の間でその都度審議させていただく形になります。その部分は消させていただくかもしれませんが、いずれにしても揃えさせていただきます。</p> <p>質問：理想像の中に、消費者目線として「安価」という言葉を入れることはできないか。</p> <p>回答：水道料金の改定は、3～5年程度の周期で、その時の財政状況や施設の整備状況等を考慮して、適正な料金に設定することとされています。高いままの設定であれば余計な収入になり、安いままだと借金が膨らんだりということがあるため、「安価」という表現をここでしてしまうことは適正とは言えません。水道料金の改定に関しては、その都度審議会を開催して、将来の収入や人口の予測等を提示させていただき、審議していただく中身ですので、今後の方向性を決める中で、「安価」という表現ができないということをご了承願います。</p> <p>質問：水道ビジョンの1ページ目に、このビジョンの決定の理由は、経済活動に必要な不可欠である水道機能を次世代に繋いでいくためにこのビジョンを策定したと書いてあるが、一般家庭のことが入っていないのではないか。</p> <p>回答：企業だけではなく、農家さんであったり、一般の生活をしている全ての人をターゲットとして、経済活動という言葉で表現しています。もし誤解を生むようでしたら、一般生活というような言葉を付け加えるようにします。</p>		

## 審 議 の 概 要

質問：水道ビジョンの39ページに書いてある、「水道事業の公共性・公益性を鑑みながら、広域化（近隣町村との連携）や外部委託の活用も含め幅広く検討する」という文章をみると、民営化するのではないかと思うが。

回答：あくまでも部分的な広域化や、外部委託に関しても維持管理の一括発注をする等、限定された部分のみのお話しになります。経営権は市町村で持っておりますので、料金の改定・決定の話は町で握っています。全部を委託して民営化してしまうというのは、料金が跳ね上がる、水道の質が落ちるといったことが心配されるので、町としては考えていません。例えば十勝管内を一括して管理してくれるという大きな企業がきて、料金や水質の部分をこちらで握ることができて、持続・安全・強靱の3つの柱を守って経営をしてくれるというのであれば、民営化も可能だとは思いますが。

### 3 その他（質疑なし）

会議録の公開期日

令和4年 3月31日まで